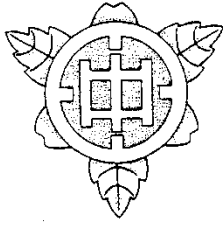


学校だより



5月号

令和3年4月30日

さいたま市立田島中学校

〒338-0837

さいたま市桜区田島10-13-1 TEL 048(864)3451

<http://tajima-j.saitama-city.ed.jp/>

【学校教育目標】

きれいな学校・調和のとれた人づくり

- 自ら学ぶ生徒（知性を磨く）
- 心豊かな生徒（感性を研ぐ）
- 活動力のある生徒（体を鍛える）

あきらめない強い心を

校長 市川 敏行

卒業証書授与式において、3年生の門出にあたり、長年アラスカでオーロラの撮影を続けているフォトグラファー、^{まつもとのりお}松本紀生さんのお話をさせていただきました。

僕は毎年、冬になると「アラスカ」という所に、オーロラの写真を撮りに行くんだ。もう何年も続けている。やめられないんだ。楽しくて。

（教育出版 中学道徳2年 「オーロラの向こうに」松本紀生 より）

筆者の松本さんには、前任校に講師としてお越しいただき、「アラスカ・フォトライブ」を開催していただきました。オオカミやクマ、ザトウクジラ、オーロラなど、大自然の写真やVTRをBGMに合わせて見ると同時に、独りでの無人島キャンプや氷河上でのかまくら生活といった撮影の様子を解説していただきました。鑑賞会を終えた生徒や保護者、地域の皆様の反響は予想以上でした。

「一番印象に残ったのはオーロラの写真です。めったに見られない赤いオーロラもあってすごいと思いました。」（1年女子）「アラスカの自然や生物などを、写真だけでなく音や映像で体感することができ、感動しました。」（2年男子）「映像の迫力、松本さんの楽しいお話に引き込まれ、あっという間の2時間でした。」（3年保護者）など大成功の鑑賞会でした。

しかし、中にはこんな感想もありました。「あきらめずに挑戦することが大切という言葉に感動しました。これから様々なことが自分にあると思うけれどがんばります。」（3年男子）「あきらめなかったと言い、素晴らしい写真を撮り続けた松本さんに励まされ、私もまず目の前にある受験をあきらめないでがんばりたいと思います。」（3年女子）「映像だけではなく、松本さんの夢や生き方についてのお話に感動しました。」（2年保護者）

松本さんは、冬にたった一人で50日くらい、氷河上でのかまくら生活でオーロラを撮影します。しかし、冬のアラスカの寒さは想像以上に厳しく、氷点下50度になることもあり、ありったけの防寒具を着ても寒い、寒いというよりも痛いという感じで頭がパニックになりそうだとおっしゃっていました。しかも、そんなにがんばっても、毎晩吹雪のためオーロラが一度も見られない時もあるそうです。

でも、それはあたりまえのことかもしれない。人間の思いどおりになんかならないんだ。そのかわり僕は、それからの十年の間に、たくさんのすてきな瞬間に出会えた。オーロラはいつも僕に、魂が震えるような、生まれてから他には一度も体験したことのない、最高の感動を味わわせてくれる。

本物の強さを持った松本さんのお話にも私も感銘を受けました。つらいことがあったとしても決してあきらめない強さを持った人間こそ本物です。多くの生徒が夢をあきらめず、力強く生き抜けるよう祈ってやみません。

